

韓国釜山市姉妹校 教育交流視察の報告

2016. 9. 13

宮竹中学校姉妹校交流実行委員会 <校長・教頭・主幹・国際教育担当教員・PTA役員>

○8月25日～8月27日 韓国釜山市華明（ファミヨン）中学校に訪問団生徒10名を引率し行ってきました。華明中は、全校生徒約1000人30クラスで全職員80名の大規模校です。多重言語活動の研究推進校で、英語教育に熱心に取り組み、1年次には日本語か中国語を全員の生徒が選択して学びます。日本や世界の国々の文化についても学んでいて、廊下のあちらこちらにも、ポスターやパネルが掲示してありました。生徒の半数近くは、隣に位置する巨大な高層マンション群（ロッテ キャッスル）から通っています。



○学校生活に関する施設や環境が充実していて、明るく広いパソコン教室、スクールカウンセラーが常駐している心の教室、環境が整った英語の習熟度クラスが印象的でした。音楽室は重厚なドアで防音設備もしっかりとなされていました。また、校長室がこちらの3倍もあり大変広く驚きました。職員室は校務分掌の係毎にブースが分かれていて、真ん中に打ち合わせ用のテーブルがおかれています。



《訪問日程》

○ 8月25日（木）：釜山市金海空港11時着、金先生保護者代表の迎えを受け昼食のレストランに向かいました。昼食後華明中に到着し、図書室にてホームステイ家族・生徒（7月に来た訪問団生徒10人）との歓迎会がありました。10人とも互いに懐かしくあいさつを交わしました。その後14時から全校生徒との歓迎集会が行われチャングの演奏やバンドの演奏、ジェギの大会など、温かい歓迎を受け、ホームステイファミリーと共に2泊の貴重な宿泊体験を行うことが出来ました。



○ 8月26日（金）：生徒は全日、9クラスに分かれて授業体験です。すぐにクラスに打ち解けて英語と簡単な韓国語、日本語を交えて会話しながら交流しました。13時30分PTA役員の教育視察訪問団が華明中に到着、校長先生、教頭先生、金先生の案内で訪問団全員で学校視察と生徒の授業風景を見学させていただきました。



その後、14時30分から図書室にて、金恩淑先生の通訳で宮竹中PTAと華明中PTA（保護者代表）との教育懇談会が実現しました。（姉妹校教育懇談会の内容は別紙にて詳しく報告しています）

○ 8月27日（土）：8時に華明中生徒と宮竹中生徒20名、訪問団全員でバスにて文化体験と観光に出発しました。ヘウンデのAPEC会場の見学、ジオラマワールドの見学そして、英語の授業体験施設グローバルビレッジにてミニ講座を体験し、金海空港から華明中の皆さんと互いに別れを惜しみながら19時に福岡国際空港に到着しました。2泊3日の姉妹校交流でしたが、異文化の理解、国を越えた人と人との繋がり温かさを感じ取る貴重な体験が出来ました。華明中の校長先生を始め先生方、保護者の皆様、通訳をいただいた金先生、お世話になったすべての皆様に心から感謝します。ありがとうございました。

